

参加費
無料

オン
ライン

要事前
申込

東京大学社会科学研究所主催
社研サマーセミナー2024

データで読み解く 世界の政治

2024年8月7日(水) 12時50分～16時20分

■ 13時00分 開会の挨拶 宇野重規 社会科学研究所 所長

■ 13時10分-14時10分 民主化（独裁化）はなぜ起こり、何をもたらすか

東島雅昌 社会科学研究所 准教授 専門分野：比較政治学・体制変動論

今年は、歴史上もっとも多くの人々が選挙を経験する年であるといわれています。現代世界は、民主主義に基づく政治が最も普及する時代であるとともに、それを脅かすポピュリスト勢力や権威主義的指導者の台頭も見られます。どのように民主化（独裁化）は起こり、それは社会や経済にいかなる影響をもたらすでしょうか。データ分析をもとに考えてみたいと思います。

■ 14時15分-15時15分 軍事力と国際政治

岩波由香里 社会科学研究所 教授 専門分野：国際関係論(安全保障・国際制度)

国際政治においては、国際制度や規範以外にも、武力の行使や武力の行使の脅しが諸国家の行動に影響を与えると考えられています。本セミナーでは、国家の軍事力などに関するデータを参照にしつつ、軍事的な強さが戦争や紛争とどう関係しているのかについて考察します。

■ 15時20分-16時20分 専門家による政策形成と政策責任：その政策は誰のおかげ/せい？

井関竜也 社会科学研究所 助教 専門分野：比較政治学・世論

新型コロナウイルスに代表される専門性の高い政策課題の登場を受け、政府外の専門家が政策形成に関与する機会が増えています。この状況には、専門家への責任の押し付けを招き、政治家の政策に対する責任をあいまいにしてしまうとの批判もあります。専門家が政策決定に関与した際、有権者は誰に政策責任を追及するのか、データから探してみたいと思います。

◇司会・コーディネーター 庄司匡宏 社会科学研究所 教授 中島啓 社会科学研究所 准教授

- 会場：オンライン
- 対象：中学校および高等学校教員ほか(一般の方も参加可能)
- 定員：50名
- 申込締切：2024年7月26日(金)
- 受講証：講義をすべて受講された方には受講証を発行します
(希望者のみ、PDFにて発行)

- お申込み方法：右下の社研ウェブサイトへアクセスし、必要事項をご記入の上、お申込ください。参加に際して配慮が必要な方はお申込時にお知らせ下さい。

[お問合せ先]

東京大学社会科学研究所
総務チーム社研サマーセミナー担当

Email : summerws@iss.u-tokyo.ac.jp

